

## 〔処方表記の解釈の違いによる薬剤量間違い(第2報)〕

### 事例

体重約1.2kgの患児に抗生剤を投与する際、上級医と医師は、院内マニュアルの「セフメタ:75-100mg/kg/日、3×」を一緒に見て投与量を計算した。上級医は、一緒に計算した1日量を確認するつもりで医師に「セフメタゾン120ですね」と言い、指示を入力するように依頼した。医師は、「セフメタゾン1回120mg 1日3回」と解釈して処方し、患者に投与した。

セフメタ:75-100mg/kg/日、3×

セフメタゾン  
120ですね



セフメタゾン  
40mg×3  
= **120mg/日**

はい!



セフメタゾン  
**120mg×3**  
= **360mg/日**



その投与量、1回量ですか？1日量ですか？

処方指示の際には、

投与量(1回量なのか、1日量なのか)

単位

投与回数

開始のタイミング

を省略せずに確認しましょう。

Let's

Check Back(チェックバック:復唱)キャンペーン